平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 3 - 9

1 事務事業の表示

:該当

事務事業名 車両運行業務民間委託事業											
	価 者	担当課名			税財管理課			担当係	名	管財係	
評		管理職	職名		課長		作成者 🛏		職名	主査	
			氏名		久保田和	孝			氏名	澤田玲奈	
事	業の概要	効果的な財政削減及び車両運行・輸送業務の円滑化を図るため、スクールバス4台、給食配送車2台、福祉バス、生涯学習バスの計8台を一括民間委託を行う。						を図る 生涯学	全体計画 (平成 20 国・道支事 地方 その 西側 事業費	年度~ 24 年度) 出金 千円 債 千円 他 千円 才源 132,100 千円	
実	施方法	直営			民間委託			その)他 ()
	第5期総合	計画(前	期)		登載事業	Ě		非登載	事業	優先度	В
	業の位置付け	政 策 目	標	5	ささえあい・雄武~協働によるまちづくりの推進						
		基本が	策	24	効果的・効率的な行政経営						
事		単 位 旅	1 策	3	地方分権型行政の推進						
		事務事業の種類			自治事務 法定受認			託事務			
		その他計画・	根拠等								
	実施年度	20年度(実績	21	年度	度(実績) 22年		度(見込)		23年度(計画)		24年度(計画)
事業費	国·道支出金		千円		千円 千円		千円		千円		千円
	地方債	千月						千円	千円		千円
	その他財源 雄武町負担額 (一般財源)	于F 26,433 于F		千円 27,933 千円		20	<u>千円</u> 26,775 <mark>千円</mark>		26,7	千円 775 千円	<u>千円</u> 26,775 <mark>千円</mark>
	合 計	26,433 千月	9	27,9	933 千円	20	6,775	千円	26,7	75 千円	26,775 千円

743

2 事務事業の目的・内容(Plan·Do)

_ 4 事物事業以口	<u> 11)、M分(Ligil, DO)</u>						
【誰、何が(対象)】	町内児童·生徒·一般町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理 論上の成果指標)					
【抱える課題や	円滑な運行・輸送業務を行う車両の老	民間委託台数					
ニーズは】	朽·腐食等による修繕費の増	指標(指標計算式/解説)	目標値	目標値及び実績値			
		車両運行業務	目標年度	平成21年度			
【どのような状態 になることを目指	安全で円滑な運行・輸送業務の遂行		目標値	8 台			
したのか(意図)			実 績 値	8 台			
() ()			達成度	100.0 %			
【その結果、どの			目標年度				
ような成果を実現	 安全で円滑な運行・輸送業務の遂行 		目標値				
したいか】 成果 = 目的			実 績 値				
/戏术 - 口口			達成度	%			
内 容(どのような手段で何を行ったか)							
業務委託	スクールバス4台、給食配送車2台、福祉バス、生涯学習バスの計8台の一括車両運行業務 民間委託契約(長期継続契約 平成21年4月1日から平成24年3月31日までの3年間)						
業務委託変更契 約	中学校冬期間スクールバス2便増便に伴う委託料増額に係る変更契約						
			_				

2 東及東米の河	(/ / / / / / / / / /		表				
3 事務事業の評価(Check) (1)事務事業の必要性(町民ニーズ·社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業							
	を実施しない場合の支援	<u>障、既存事務事業との機能重複や</u>	·見直しによる対応可能性)				
必要 /概ね必要/	■ 義務的なもの ②全部	経費節減や円滑な運行管理を行 [?] 要である。	うためには、引続き民間委託が必				
課題あり	一部						
(2)事務事業の有効	性(期待する効果が得られ	れたか)					
	設定した目標値の達成						
有効	<mark>状況</mark>	バス6台、給食車2台を一括民間委託することにより、柔軟な運行 及び輸送業務を行うことができ有効である。					
有効/概ね有効/ 課題あり	ほぼ達成 下回る						
(3)事務事業の効率	性(コストに見合った効果	が得られたか、計画上のコストを	下げる工夫をしたか)				
効率的 効率的/概ね効率 的/課題あり	判断の理由 事業費抑制 人員削減 時間短縮·作業軽減 その他	人件費等の抑制を図ったが、車両修繕経費が嵩みコストを下げる 事は難しい。					
(4)事務事業の公平	·性						
(, , =	判断の理由						
公平/概ね公平/ 公平でない	受益者負担がある 受益者負担がない 受益が一部に偏る その他	車両運行対象者すべてが恩恵を	受けている為公平である。				
4 総合評価【A ~ D】 A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等							
自己評	価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)				
	A						
効率的な経費削減を 事業を進めることが	を図るためには、計画通り 必要である。						
今後の展開方 (Action)							
継続/	′ 現状維持	·	•				
効果的な財政削減及の円滑化を図るため続する必要がある。 長期継続契約)	及び車両の運行・輸送業務 りには、計画通り事業を継 (平成24年3月31日まで						
*展開方向の区分 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止							
5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)							
2 C公田付記事場	ぇ(ァファ─├神旦なこクド	ᇚᆁᄤᄯᅕᆈ <i>ᆡ</i> ᇆᄻᆈᆸᆹᅐᅅᆸᇌ	J/\)				